



完全保存版「自然素材住宅塾」



一樹靖人（いちます やすひと）
一級建築士・宅地建物取引士

今の住まいと未来の住まいに役立つ情報満載

こんにちは。駿河屋の一樹です。
本格的に寒い季節となりました。インフルエンザも防ぐために加湿したいですが、結露もいやですね。
それでは今月も子育てママのお役にたてる、おうちの事で大切なこと、発信します！

【インフルエンザや結露やカビを防ぐリフォームとは？】

人は生きている間、呼吸を止めることは出来ません。なのに毎日吸い込む住まいの空気が、ダニやカビなど微生物で汚染されているとしたら嫌ですね。

1990年代に社会問題となったシックハウス症候群をご存じですか？
これは早く安く住まいを建てるために開発された、新建材（ベニヤやビニールクロス、接着剤など）が原因で、体調不良となり、新築住宅に入居できないなど、社会問題となった事件です。2003年の法改正によって、だいぶ改善されましたが、子供や女性などが影響を受けやすい問題です。

新建材は石油製品で住宅をつくっているのです、ビニールハウスのように室内の湿度調整ができず、結露などが発生しやすく、カビやダニが発生しやすい環境になっています。なのでぜんそくやアレルギーなどの要因になっていると言われています。

こうしたビニール製の建材や接着剤などが原因で発症する「シックハウス」は、すでに一般的な言葉になりましたが、もっと広い意味のことを指すと私は考えます。
例えば、室内温度のムラや、湿気の多さ、カビ、ダニなどの室内微生物汚染
冬の寒さや夏の夜の寝苦しい暑さなど、室内環境が原因の健康障害を起こすもの全てが「シックハウス」という概念に当てはまると考えます。

その中でも、室内の微生物汚染は、現代の住宅においてとても深刻なのはやはり「人の居るところには微生物も必ずいる」ということです
強い薬で絶滅させようとしても、人間も同じ生物なので、人体にも影響が出ます。

やはり、住まい手側の正しい知識と、生活改善、室内環境の改善をするための設備や

